



せたがや区議会だより

No.278

令和3年(2021年)1月1日
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

<https://www.city.setagaya.lg.jp/kugikai/index.html>

新型コロナウイルス対策関連 第4回 補正予算(第四次)などを可決 定例会

迎春



区役所から撮影

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から25件の案件が提出され、全て可決しました。

※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●2年度補正予算

1件

○一般会計(第四次)
(全員賛成)

新型コロナウイルス感染症防止対策などの課題に対応するため、歳入歳出予算それぞれに二億二千万一千円を追加する。四次補正後の予算額は四三八億一七二〇万九千円となる。

●条例の改正

6件

○職員服務宣誓条例
(全員賛成)

会計年度任用職員の服務の宣誓に係る特例を定めることができる旨の規定を追加する。

○駐車場条例
(全員賛成)

世田谷区役所駐車場(世田谷4-22-30)を廃止する。

○公園条例
(全員賛成)

祖師谷六丁目つき記念公園(祖師谷6-23-22)と、北鳥山七丁目もっこく公園(北鳥山7-33-28)を新設する。
○職員給与条例
(全員賛成)

新年のごあいさつ



世田谷区議会議長
和田ひとし

明けましておめでとうございます。区民の皆様におかれましては健康やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界規模で蔓延し、国内でも緊急事態宣言が出され、3密の回避など新たな生活様式への転換を余儀なくされま

した。こうした中、区では、最前線で奮闘する医療従事者への支援をはじめPCR検査体制の拡充や中小企業への支援など、区民の生命と財産、生活を守るために補正予算を組み様々な緊急対策を講じてまいりました。

3年度は、これまで経験したことのない大幅な税収減が見込まれる中、更なる新型コロナウイルス感染症の強化や冷えた区内経済の復興など、今後の財政需要を見据え、一層強固な財政基盤の構築が不可欠です。執行機関と緊密に連携を図りながら、全事業について必要性や効果を厳格に見極めて行財政改革に一層取り組み、区民生活向上

●専決処分の承認

3件

○区長等の給料条例
(全員賛成)

○監査委員の給与条例
(全員賛成)

○教育長の給与・勤務時間条例
(全員賛成)

以上3件は、副区長3人制の実施に伴い、人件費を抑制するため給料月額を改定する。

●指定管理者の指定

7件

○区民会館
(全員賛成)

| 施設名称 | 指定管理者 |
|-----------|---------|
| 世田谷区民会館別館 | 株式会社世田谷 |
| 北沢区民会館別館 | サービス公社 |
| 玉川区民会館別館 | 株式会社共立 |

○区民斎場
(全員賛成)

| 施設名称 | 指定管理者 |
|----------|------------|
| みどり会館 | 株式会社JA東京中央 |
| セレニーセンター | |

○障害者福祉施設
(全員賛成)

| 施設名称 | 指定管理者 |
|---------------|----------------|
| ほほえみ経堂 | 特定非営利活動法人 |
| すまいる梅丘 | ワーカーズコープ |
| 三宿つくしんぼ | 社会福祉法人全国 |
| ホーム | 重症心身障害児(者)を守る会 |
| 岡本福祉作業ホーム | 社会福祉法人泉会 |
| 岡本福祉作業ホーム玉堤分場 | |
| 梅丘ウッドベッ | 特定非営利活動法人 |
| カーの森 | ウッドベッカーの森 |

と地域経済活性化の両立に向け全力を尽くしてまいります。

また、戦後最大とも言えるこの難局を、山積している区政課題解決への契機と捉え、デジタル化推進や災害対策強化、子どもの教育環境の拡充、高齢者や障害者施策の充実、都市基盤の整備や環境保全など、区議会は一丸となつて取り組んでまいります。

世田谷区議会が皆様にとってより身近なものとなるよう、開かれた議会づくりに向け、全議員の力を結集して取り組む所存です。

ご理解とご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

○知的障害者生活寮

(全員賛成)

| 施設名称 | 指定管理者 |
|--------|--------|
| 松原けやき寮 | 社会福祉法人 |

○身体障害者自立体験ホーム
(全員賛成)

| 施設名称 | 指定管理者 |
|-------------------|--------------|
| 身体障害者自立体験ホームなかまっち | 特定非営利活動法人つどい |

○自転車等駐車場
(全員賛成)

| 施設名称 | 指定管理者 |
|----------------|----------------|
| 駒沢自転車等駐車場ほか53件 | 公益社団法人 |
| | 世田谷区シルバー人材センター |

〈8ページへ続く〉

会派名等

自民 自由民主党世田谷区議団
公明 公明党世田谷区議団
立民 立憲民主党世田谷区議団
F行 自由民主党世田谷区議団
あした 自由民主党世田谷区議団
共産 日本共産党世田谷区議団
生 生活者ネットワーク世田谷区議団
減 減税減税世田谷区議団
虹 虹の会世田谷区議団
世田谷 世田谷区議団
都ファ 都民ファーストの会
区守会 区民を守る会
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

令和3年(2021年)年頭に当たって

議員の連絡先は令和2年12月22日現在

自由民主党 世田谷区議団

明けましておめでとございます。皆様には、日ごろから多大なるご指導、ご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が延期され、また非常事態宣言が発出されるなど、私たちの日常生活や社会経済活動は大きな影響を受けました。特に需要の冷え込み等による区内経済への打撃は深刻で、地域経済の早期立て直しに向けて果敢に取り組みなければなりません。また、保健所機能の強化や医療機関等への支援拡充など、感染症の蔓延防止対策の更なる強化も重要な課題です。



阿久津 皇
〒157-0073
砧8-2-24
080-3464-2911



石川 ナオミ
〒156-0056
八幡山3-23-26-102
5942-1285



おぎの けんじ
〒158-0093
上野毛4-13-11
6809-7120



加藤 たいき
〒154-0017
世田谷1-28-13
6674-2391



上島 よしもり
〒156-0052
経堂1-21-16-3F
6356-4344



河野 俊弘
〒154-0023
若林1-16-1-700
6805-4054



宍戸 三郎
〒156-0043
松原3-42-2-4F
3323-7223



下山 芳男
〒154-0011
上馬4-2-5
3418-2869



菅沼 つとむ
〒154-0015
桜新町1-14-18
3428-2161



畠山 晋一
〒156-0041
大原1-16-3-112
3466-7005



真鍋 よしゆき
〒157-0063
粕谷4-20-18-206
3300-3940



山口 ひろひさ
〒158-0082
等々力5-4-2-602
3702-1819



和田 ひでとし
〒158-0083
奥沢1-40-2
3720-3542

私たちは会派は、行財政改革を徹底するとともに、コロナ対策に全力で取り組み、区民の皆様にとって真に必要な以下の政策を確固たる信念を持って進めてまいります。

●新型コロナウイルス感染症対策を強化し、安心して暮らせる街づくりを進めます。

①感染症の蔓延防止（重篤化しやすい高齢者への感染予防対策を強化します）

②地域経済の活性化（区内事業者への経営支援を拡充します）

③就労・起業支援（職住近接が可能な環境をつくりまします）

④教育の充実（ICTを活用した教育環境を整備します）

⑤地域活動支援（お互いに支え合える地域の絆をつくりまします）

●区民の生涯を通じたニーズにきめ細かく対応し、健やかに生活できる環境を整備します。

①スポーツ・文化の推進（東京2020大会の成功、及び文化の街として更なる飛躍を目指します。）

②健康・長寿の推進（23区トップの健康長寿を目指します。）

③妊娠出産・子育て支援（生まれる前から子育てを支援します）

④結婚・家族支援（結婚後も世田谷に住み続けたい人を応援します）

⑤障害児・障害者支援（個人の特性に応じた支援を充実します）

●都市基盤の整備、安全・安心な街づくりなど、区民生活を支える「縁の下の力持ち」になります。

①道路・交通環境整備の推進（開かずの踏み切り解消をはじめ、世田谷の弱点）を克服します。

②都市基盤整備の推進（誰もが歩いて楽しいまちをつくりまします）

③防犯・交通安全対策の強化（安全・安心な暮らしを守ります）

④防災対策の強化（首都直下地震や大型台風等の到来に対し、万全の備えをします）

⑤みどりの保全（美しい自然を守り、未来に継承します）

Setagaya あらい た

新年おめでとございます。新型コロナウイルスの中、皆様いかが新年をお迎えになられたでしょうか。新型コロナウイルスを初めとする感染症蔓延や、大型台風による浸水被害、地域経済の落ち込みなど、私たちを取り巻く環境は大きなうねりの中にある、と感じられます。大切なことは、いかなる災害や



神尾 りさ
〒154-0003
野沢2-8-1
080-3354-4648



小泉 たま子
〒157-0068
宇奈根3-14-28
3415-0305

日本共産党 世田谷区議団

新年おめでとございます。長期化するコロナ禍から、命と暮らしを守るのが、政治の最大の責務であり、今年も保坂区長と共に全力で取り組みます。昨年は感染抑止に繋がる社会的



江口 じゅん子
〒156-0044
赤堤1-40-13-303
5300-2735



江口 じゅん子
〒156-0044
赤堤1-40-13-303
5300-2735



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の聖火リレートーチ巡回展示の様子

社会情勢の変化が起きている中、私たちの生活がきちんと営めること、日々の日常生活が、安全安心に包まれ、笑い声が絶えない楽しい毎日を送ることができることです。子どもが伸び伸びと成長していく、認知症になっても安心して暮らすことができる、そのようなまちづくりを目指します。この一年が皆様にとって、より素晴らしい年でありましますように、心よりお祈り申し上げます。



佐藤 美樹
〒156-0045
桜上水4-18-25
6379-8300



つるみ けんご
〒154-0003
野沢4-14-4
6322-0575

検査実施に向け、政府要請等を重ね全額国費対応が実現しました。今後も区民の命を守る検査拡充や介護等福祉の支援強化を求めます。暮らし・営業への影響が増すなか、切実な要望を議会へ届け、家計急変世帯の就学援助適応やゼロ金利融資等が実現しました。今後も暮らしを守り経済を立て直すため、市民と野党の共闘で奮闘します。



たかじょう 訓子
〒157-0062
南鳥山2-8-2-104
090-6655-2003



たかじょう 訓子
〒157-0062
南鳥山2-8-2-104
090-6655-2003

生活者ネットワーク 世田谷区議団

あけましておめでとございます。世田谷から東京を「生活のまち、安心・共生・自治のまち」にするため、皆様とともに活動してまいります。コロナ禍に翻弄された昨年の経験を踏まえ、格差や分断を乗り越えた新たな共生社会実現を目指し、子育て・介護・障がい者支援など地域福祉を充実させます。気候変動による災害が私たちの命を脅かしています。SDGsやパリ協定の理念を活かし、自然再生エネルギーの利用促進やごみの分別、水とみどりを守る提案を重ね、足元から環境を守ってまいります。今年もよろしく願いいたします。



金井 えり子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
3420-0737



高岡 じゅん子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
3420-0737



田中 みち子
〒154-0017
世田谷1-16-16-301
3420-0737

減税せたがや

コロナ禍における区民の命を守る「安全安心の確保」や「福祉向上」、「行政のデジタル化」といった政策実現に向けピンチをチャンスに変える提言を区民の代表として勇気を持って挑戦・実行します。



あべ りきや
〒157-0076
岡本1-38-14-306
3412-1021

レインボー 世田谷

慶春。一人会派の議員でも条理を尽くした議論で多くの成果が上げられます。本当に困っている人ほど声を上げることが難しい。マイノリティだった体験を伸びやかに暮らせる社会づくりに活かします。



上川 あや
〒156-0051
宮坂2-26-24-203
5799-7765

世田谷無所属

謹賀新年 コロナ禍のピンチをチャンスに！知恵を絞り、五感を働かせ、変化に柔軟に対応してまいります。そして常に聴く耳を持ち、皆様の声を反映させてまいります。本年もよろしく願いいたします。



ひうち ゆう子
〒155-0033
代田6-6-22-102
3466-3858



明けましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

あけましておめでとうございます。日頃より公明党への温かなご支援を賜り心より感謝申し上げます。我が国は、新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の困難に直面し、経済活動と日常生活に多大な影響を及ぼしております。そうした中、公明党として一律10万円の特別定額給付金をはじめ住居確保給付金や緊急小口資金、持続化給付金、雇用調整助成金など国、都、区のネットワークによる政策を数多く実現してまいりました。誰もが予期できなかった事態により、浮き彫りになった区の財政の課題を今こそ、果敢に改革するチャンスと捉え、区民の生命と健康とくらしを守ることを最優先に、一昨年度から導入された新公会計制度を活用し「財政の見える化」を図りながら短期・中期・長期の視点に立ち、思い切った発

想で改革を推進してまいります。①新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、PCR検査体制の更なる拡充とワクチン接種の円滑な体制づくりを進めます。②行政手続きのデジタル化を加速させ、区民目線で窓口業務の改善を図ります。③健康寿命の延伸へフレイル予防の促進と「世田谷版健康ポイント制度」を創設します。④中小・小規模事業者が事業の継続ができるよう特別融資を含めきめ細やかな経済対策に取り組みます。⑤高齢者・障がい者・子育て世帯などの雇用、住宅等を守る政策を前に進めます。⑥文化・芸術アーティスト支援策として「世田谷版「ブンアーティスト制度」を創設します。本年も公明党世田谷区議団は、これまでも増して現実の生活現場の最前線で「小さな声、声なき声」に耳を傾け、政策実現に向けて粘り強く努力を重ねてまいります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



河村 みどり
〒157-0061
北鳥山8-2-16-104
3307-4884



岡本 のぶ子
〒156-0054
桜丘4-25-17-210
3427-0557



板井 斎
〒158-0087
玉堤1-16-28
3704-8405



高橋 昭彦
〒156-0044
赤堤2-30-12
3327-0443



高久 則男
〒154-0005
三宿2-14-7-304
3422-0828



佐藤 弘人
〒157-0071
千歳台3-21-14
3482-7732



福田 たえ美
〒158-0094
玉川3-21-3-401
5797-9825



平塚 敬二
〒154-0022
梅丘2-8-9
3420-0240



津上 ひとし
〒154-0024
三軒茶屋2-28-11
5787-6162



世田谷立憲 民主党社民党

新年明けましておめでとうございます。世界中が未曾有の事態に手探りの対応を迫られる一年が終わり、新たな節目を迎えました。世田谷区では引き続き、区民の生命と健康を守る更なる対策と、飲食店を中心とした地域経済への対策が急がれます。

コロナの影響による区の財源不足は深刻ですが、行政側が取り組む事業の見直しだけでなく、今こそ議会が責任を持って歳出削減の提案をし、その役割を果たさなければいけない状況だと認識しています。

そうした中で、我が会派は緊急事態宣言以降、文字通り緊急に全事業点検を実施し、総額約十五億円の削減案を練り上げました。これに加えて、例年更新している来年度予算要望書でも約九十三億円の削減プランを編成し、区長をは

無所属・世田谷 行革110番・維新

迎春。今年こそ共にコロナを乗り越えましょう。私たちは税金の無駄遣い、行政の不正等々をたゞす旗のもとに結集した、大庭正明、田中優子、桃野芳文、ひえしま進からなる四名の交渉会派です。新型コロナウイルス対策ではパフォーマンスに走り多額の税金を浪費しようとする保坂区長と対峙し、医



田中 優子
〒156-0043
松原4-34-20-309
3322-8131



大庭 正明
〒157-0063
粕谷3-15-3
3307-1179



桃野 芳文
〒157-0067
喜多見8-4-12-103
6751-1781



ひえしま 進
〒156-0055
船橋3-24-1
080-4806-9024



桜井 純子
〒157-0062
南鳥山5-10-5-301
3326-1321



風間 ゆたか
〒154-0002
下馬3-24-19
080-5466-0024



いそだ 久美子
〒157-0066
成城6-16-12-303
070-4075-6458



中村 公太朗
〒158-0081
深沢3-26-4
090-4840-8877



中塚 さちよ
〒156-0054
桜丘2-20-10 葉野ビル303
3429-6078



藤井 まな
〒154-0012
駒沢2-12-1
080-1085-3624



羽田 圭二
〒158-0092
野毛3-6-22
3702-3550



中山 みずほ
〒154-0015
桜新町1-25-25
080-4634-2547



令和3年1月12日に開設予定の玉川総合支所の新庁舎の外観と内観(等々力3-4-1)

都民 ファーストの会

日常が一変しましたが、この状況を奇貨として、行政と学校のデジタル化・個人最適化をはじめ次の時代の日常を、IT出身・最年少議員として区議会の先頭に立つて提案・実現して参ります。



そのべ せいや
〒158-0097
用賀3-25-18
090-6939-7273

区民を守る会

迎春。区民を守る会は、誰もが安心して暮らせる町の実現を目指し、NHKから皆様を守る活動に加え、特殊詐欺等の犯罪行為や、新型コロナウイルス、自然災害に対する施策の強化に取り組みます。



くりはら 博之
〒154-0017
世田谷4-26-10-101
090-4208-1218

無所属

新年明けましておめでとうございます。今年は丑年。次世代を担う若者たちが未来を信じ、社会全体が明日に向かって羽ばたく一年になってほしいと思います。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



あおぞら こうじ
〒156-0041
大原1-39-1
3485-2726



代 表 質 問

11月25日及び26日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団
おぎの けんじ 議員



区長が描く世田谷区の都市戦略

質問 区長の招集挨拶や議会答弁からは区が今後の都市間競争を勝ち抜いていく明るい将来像が全く見えてこない。区のリーダーとして骨太かつ明快なビジョンを示せ。

区長 住民との双方向型、ネットワーク型の都市運営を目指す。

3年度予算編成に係る区長の姿勢

質問 3年度予算編成はいまだ大幅な歳出超過の状況にあるが組織を牽引する区長の姿が見えない。持続可能な区政運営に向け、現場に対し強いメッセージを発信せよ。

区長 持続可能な区政運営に向け、徹底した見直しを指示していく。

教育長が目指すオンライン教育

質問 オンライン学習の環境が整う3年度以降は、コロナ禍を踏まえた特色ある教育の展開に期待が高まる。教育長はオンライン教育をどう位置づけ何に取り組みのか。

教育長 従来型授業からの脱却と考える探究的な学習の実現を目指す。

コロナワクチン接種体制の構築

質問 ワクチン接種は今後の感染拡大を防ぐ最大の機会だ。遅滞なく接種を開始するため、接種の順番や区民周知、問合せ対応などの準備を進め万全な体制を整えよ。

副区長 92万区民を守るため万全な接種体制の準備を着実に進める。

経済活性化に資する飲食店支援

質問 せたがやペイの利用者にポイント還元を図る飲食店応援キャンペーンには地域経済活性化が期待される。効果が十分得られるよう店舗と利用者の拡充に注力せよ。

経済産業部長 関係機関と連携し様々な手法で400店の参加を目指す。

DXに特化した組織の立ち上げ

質問 デジタル技術を活用した業務改革であるDXの推進には専門組織が必要だ。来年度には部署を立ち上げ、予算権限とシステム設計・構築の権限を集中させよ。

政策経営部を牽引役に専門人材も活用しつつ改革に取り組む。デジタル化による情報格差の解消

質問 行政事務のデジタル化にはICTに不慣れな高齢者などへの配慮も重要だ。まちづくりセンターに相談窓口を設けるなど各地域に情報格差解消の拠点を整備せよ。

地域行政部長 情報格差解消に向けた拠点としての整備を検討する。

道路整備事業の確実な推進

質問 都市の骨格である道路は、区民の生命と財産を守る重要なインフラであり、予算を安易に削減すべきではない。いかなる状況下でも道路整備を着実に進めよ。

副区長 国や都からの補助金確保に努め、計画的な整備に取り組む。

不妊治療費の助成制度の拡充

質問 不妊治療は費用が高額なため治療を諦める人が多いと考えられる。助成制度改定に向けた国や都の動向を注視し、速やかに対応できるよう相応な予算を確保せよ。

保健所長 国や都の動向を注視し、関係所管で連携して対応していく。

認知症者を地域全体で支える取組

質問 他自治体には買物支援など、認知症者への支援事例が数多く存在する。認知症に係る条例を制定した区として認知症者を地域で支える具体的な取組を早急に進めよ。

高齢福祉部長 地域と協力し、見守りや買物支援の取組を進める。

農福連携事業の早期実現

質問 障害者の就労を農業分野につなげる農福連携は双方に様々なメリットをもたらす。区においても機運醸成と事業の推進のため、象徴的な取組を早期に実現せよ。

副区長 JAや農家協力のもと、具体的な事業実施を検討している。

河床掘削による多摩川の浸水対策

質問 区は多摩川の浸水被害軽減には水位低下が必須との最終報告を示した。上流下流に限らず区の流域についても中州や河床に堆積した土砂の掘削を国に要望せよ。

副区長 河床状況に応じ掘削するよう国に対し強く要望し続ける。

公明党世田谷区議団
岡本のぶ子 議員



聖域なき行財政改革の着実な推進

質問 コロナ禍で財政危機にある今こそ行財政改革の好機だ。新公会計制度を活用して全事業を検証し、短期や長期など取組期間を分類した事業改革計画を策定せよ。

区長 これまでの見直しを踏まえ事業改革計画での改革を進める。

高齢者や障害者の居住支援

質問 我々は高齢者や障害者の居住支援強化を求めてきた。区は住宅確保要配慮者を支援する国の住宅セーフティネット制度の対象を拡充し、高齢者や障害者を加えよ。

都市整備政策部長 居住支援法人による支援の拡充など鋭意取り組む。

ひとり親に寄り添った窓口の実現

質問 ひとり親が相談しやすい窓口を実現すべきだ。相談者に寄り添う職員の相談スキルの向上と、平日に来所が難しい方々への休日・夜間の相談窓口の開設に取り組め。

子ども・若者部長 必要な支援につなげる仕組みの充実を進めていく。

在宅で暮らす要介護者の支援拡充

質問 要介護者が新型コロナ陽性者の濃厚接触者となったことで、訪問介護を断られた例があると聞く。介護崩壊を防ぐため、短期入所施設などでの受入れを検討せよ。

副区長 必要な介護サービスなどを提供する体制の整備を検討する。

せたがやペイを活用した景気浮揚

質問 コロナ禍を踏まえ景気浮揚策を強化すべきだ。マイナバーカードを活用した世田谷版マイナポイントを構築し、せたがやペイと連動した消費活性化策を講じよ。

経済産業部長 消費喚起とマイナポイントの連携の可能性を探る。

再生可能エネルギー創出の推進

質問 区は気候非常事態宣言でCO2排出量実質ゼロの目標を示した。実現に向け、環境リノベ事業を再生可能エネルギーの地産地消につなげる創エネの視点から拡充せよ。

都市整備政策部長 環境政策部と連携し省エネ・創エネの取組に努める。

質問 コロナ禍で活動が制限されるアーティストは発表機会を得ることが希望につながる。登録者が公園などで活動できる世田谷版へブンアーティスト制度を創設せよ。

生活文化政策部長 活躍機会の点を考慮し提案を踏まえた取組を進める。

世田谷版健康ポイントの創設

質問 区民の主体的な健康づくりに向けインセンティブを設けるべきだ。マイナバーカードを活用し特定検診受診などでポイント付与する健康ポイント制度をつくれ。

保健福祉政策部長 カードの活用も視野に制度創設に向け検討していく。

全区区立における性教育の充実

質問 性教育は生命の尊厳を学び、障害やLGBTなどの多様性を認め合う機会となる。助産師など専門家による授業を全区区立で行え。

教育政策部長 オンラインの活用など全校実施に向け取り組む。

本文中で使用している省略表記

東京2020大会

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

環境リノベ事業

環境配慮型住宅リノベーション推進事業

支所

総合支所



世田谷立憲民主党市民党
藤井 まな 議員



費用を抑えた社会的検査の拡充

質問 区のPCR拡充施策「社会的検査」に教員などを加えると財源不足は明らかだ。検査方法の改善を図るとともに一人当たりの検査費用を抑え、検査数を拡充せよ。

副区長 プール方式の検査や都の補助事業の活用が必要だと考える。

被災からの復旧プロセスの可視化

質問 早期の災害復旧には平時から区民にそのプロセスを分かりやすく示しておくことが重要だ。特に災害廃棄物処理など身近な課題は復旧タイムラインで可視化せよ。

危機管理部長 復旧プロセスの見える化を関係所管で連携し進める。

CO2排出ゼロ達成に向けた目標設定

質問 気候非常事態宣言で掲げたCO2排出量実質ゼロを2050年までに達成するには、目標を定め区民に示す必要がある。啓発リーフレットの作成に合わせ目標を明示せよ。

環境政策部長 施策見直しの中で、区民に身近な目標設定を検討する。

子どもを支える団体活動への支援

質問 子どもの居場所づくりを担う団体や子ども食堂はコロナ禍で先行きが見通せず存続の危機に陥っている。活動の継続を支援せよ。

子ども・若者部長 子ども基金からの助成などを通じ、活動を支援する。

オンラインを活用した教育の転換

質問 児童生徒へ配付予定のタブレットを活用し教育の構造転換を図るべきだ。障害の有無や不登校を問わず参加できるオンライン授業を進め質の高い教育を実現せよ。

教育長 ICT活用を教育の転換の追い風にすべく全力で取り組む。

調布市の道路陥没を受けた対応

質問 調布市の外環道工事区間で道路陥没を受け、外環道上に住宅がある区民から不安の声を聞く。調査の徹底を事業者に強く求めよ。

道路・交通計画部長 不安解消に向け、引き続き事業者に調査を要請する。

無所属世田谷区議員
田中 優子 議員



感染抑止に向けた職住近接の促進

質問 職住近接は人の行動範囲を狭め新型コロナウイルス感染者の追跡調査を容易にし、感染抑止にもつながる。この視点で区政運営を考えよ。

副区長 働きやすい環境の支援など、職住近接の実現に取り組む。

社会的検査の継続した実施

質問 1回きりのPCR検査では意味がない。埼玉県の特養ホームで発生したクラスターの例を教訓とし、高齢者施設の入所者全員を対象とした検査を繰り返し行え。

保健福祉政策部長 より効果的な感染防止策を引き続き検討していく。

選択と集中を重視した社会的検査

質問 補正予算を組んでまで実施する社会的検査に一切の無駄があつてはならない。「選択と集中」に徹し、限られた財源と医療資源を有効かつ最大限に活用せよ。

保健福祉政策部長 これまでの実績を検証し、必要な見直しにつなげる。

子どもの自死防止に向けた対策

質問 国の調査によるとコロナ禍において自ら命を絶つ子どもが急増しており、大変深刻な状況だ。自死を防ぐための区の取組を示せ。

保健所長 自殺予防の手引や相談事業の案内を窓口などで配布する。

望まぬ妊娠への対応

質問 熊本市内で赤ちゃんポストを設置している病院では10代からの妊娠相談が増えていると聞く。若年層の望まぬ妊娠の相談に対し、区はどのように対応しているのか。

保健所長 妊娠SOS相談として受け付け、助言や支援をしている。

緊急避妊薬の市販化に対する見解

質問 国は緊急避妊薬の市販化への検討を進めている。予期せぬ妊娠などへの最後のとりでとして多くの女性が求めてきた緊急避妊薬の市販化に対する区の見解を示せ。

保健所長 体への影響など正しい知識と理解の普及啓発を検討する。

代 表 質 問

代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継 で検索！

Setagaya あいた
佐藤 美樹議員



予算編成での事業見直しの透明化

質問 3年度予算編成における大規模な事業見直しは区民理解を得ながら進めるべきだ。削減面はもちろん感染症対策などの拡充面についても明確な基準の下、進めよ。

副区長 次の見直しの際には、拡充すべきものも同時に示したい。

業務効率化に向けたDXの推進

質問 デジタル技術による業務改革であるDXを推進すべきだ。まずはDXのプロジェクトチームがオンライン活用やデジタル化を実践した上で、全庁で取り組め。

政策経営部長 チームメンバーの所属で率先して取り組んでいく。

働き方の変化を捉えた事業の改善

質問 区は在宅勤務の普及を地域や区政発展に生かすべきだ。ワークスペースと一時預かりを併設したワークスペースひろば型を活用し新たな層を地域活動につなげよ。

区長 「働く」を起点に「コミュニティ」を再構築していきたい。

地域活動の再開に向けた支援

質問 コロナ禍で地域のイベント中止が相次ぐ中、形式を工夫して実施した地区もある。まちづくりセンターは活動事例の集約と情報共有の拠点となり地域を支援せよ。

副区長 まちの実態を把握し、地域活動の再開や再興を支援する。

主体的な学びを促す授業の実践

質問 ICT教育を進める上で子どもが主体的に何を学びたいかを考えさせる「教えない授業」の視点が重要だ。積極的に取り入れよ。

教育政策部長 授業事例の共有などを通じて教員の能力向上を図る。

タッチ・ザ・ワールドの見直し

質問 タッチ・ザ・ワールドの在り方を見直すべきだ。都が運営する施設に倣い、海外の生活を再現して英語を話す力を育む場とせよ。

教育長 今後の運営計画見直しの中で、充実に向けて取り組む。

一般質問

11月26日及び27日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

真鍋 よしゆき議員 (自 民)



予算編成への大きな懸念

質問 区は3年度予算編成に向けた事業見直しで70億円を削ったが、なお130億円を超過したままであり、先行きが大変心配だ。この状況で予算編成にどう対応していくのか。

答弁 国や都の財源を最大限活用していくことが不可欠だと考える。

コロナ禍での本庁舎整備の進め方

質問 区は新型コロナの影響で延期した本庁舎整備の入札公告を再開した。当事業を今進めることは、厳しい財政状況を区民に理解してもらうことの妨げにならないのか。

答弁 区民理解に努め、関連事業費も削減を目指しながら進める。

千歳烏山駅周辺まちづくりの推進

質問 国から取得した千歳烏山駅南側の土地は本来、京王線連立事業のために取得したが、違う用途で暫定利用されたままだ。改めて連立事業に活用すると明言せよ。

答弁 先行取得した土地の活用を視野に周辺まちづくりを推進する。

神尾 りさ議員 (あらた)



ホストタウンとしての気運醸成

質問 桜とハナミズキは日米の友好の象徴として100年以上前から両国で親しまれてきた。東京2020大会の気運醸成に向け、米国のホストタウン事業でもこの花を活用せよ。

答弁 ホストタウンのロゴや切手、植樹などを通じて理解促進を図る。

SNSを活用した交流の場の創出

質問 オンラインでの交流が広がり、異世代同士が気軽に情報や課題を共有している。SNSを活用しヒト・モノ・コトがつながるプ

ラットフォームを早急に構築せよ。

答弁 対面に加えSNSでのプラットフォームの取組を加速させる。

民間主導によるまちづくりの推進

質問 都市再生推進法人となった二子玉川エリアマネジメントによる地域主体のまちづくり計画が区内で初めて策定された。法人化を目指す団体にこの事例を周知せよ。

答弁 適時、関連情報やノウハウを提供し共に進めていく。

田中 みち子議員 (生 産)



外環道工事での緊急時対応の改善

質問 調布市の外環道工事現場周辺で道路陥没事故が起きた。これを踏まえ、区は事業者に対し緊急時の考え方を記した冊子の抜本的な改善と区民への再配布を求めよ。

答弁 道路陥没なども緊急時と捉えて見直すよう再度働きかける。

子ども食堂を含む地域支援の輪

質問 地域支援の一つである子ども食堂は困難を抱える子どもの支援団体との連携が弱い。支援の輪が広がるよう要保護児童支援協議会代表者会議などに参加させよ。

答弁 オフザパー参加を可能とするなど協議会の運営を見直す。

生活保護を相談しやすい環境整備

質問 長引くコロナ禍で困窮世帯の増加が懸念される。保護申請をためらわないよう、制度周知の視点から生活保護のしおりを見直し、ホームページや窓口で案内せよ。

答弁 ホームページに公開するとともに、窓口でも配架していく。

阿久津 皇議員 (自 民)



創業支援での新たな仕組みの構築

質問 区内産業の活性化を図る上で若者が新しい事業に挑戦できる環境が必要だ。コロナ禍で雇用情勢が厳しい今こそ創業支援における新たな仕組みを構築せよ。

答弁 相互交流が可能な通信手段の活用など準備を進めている。

出産に係る費用助成の増額

質問 健康保険における出産育児一時金は、実際の出産費用と比べて少なく家計の負担が大きい。子育て利用券や区内共通商品券も活用し、区独自で助成額を増額せよ。

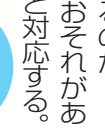
答弁 国の動向を注視し、区として必要な制度改正などを行う。

議員によるハラスメントへの対応

質問 議員による職員へのパワハラやセクハラは特殊な関係性から表面化しにくい。職員が議員からハラスメントの被害を受けた場合、区はどのように対応するのか。

答弁 心身をむしばむおそれがある場合は担当の交代など対応する。

風間 ゆたか議員 (立 民 社)



高齢者の健康づくりの在り方

質問 コロナ禍の高齢者の健康増進施策は屋外でのコミュニティづくりの支援に注力すべきだ。民間スポーツクラブ任せの区の手法は財源の浪費であるため、見直せ。

答弁 身近な場所での仲間づくりなどの点を踏まえ慎重に検討する。

オンラインを活用した不登校対策

質問 熊本市では教育のオンライン化により不登校の子どもの約半数が支援につながった。区が設置予定の不登校特別校でも誰もが参加できるオンラインを基本とせよ。

答弁 タブレット導入を進め、不登校などの支援に最大限活用する。

自主性を育む生徒会サミット運営

質問 今後の教育は生徒の自主性や自立、自治を育むことが重要だ。生徒会サミットが中心となり、校則づくりをテーマに全生徒がオンラインで議論する取組を検討せよ。

答弁 運営やテーマを生徒会サミットメンバーや教員で検討する。

くりはら 博之議員 (区 守 会)



携帯電話に係るNHK受信料

質問 過去の最高裁において、ワンセグ機能付携帯電話の所持がNHK放送の受信設備の設置に当たると示されたが、既に受信契約を

結んでいる場合は新たな契約は不要とした。区保有の当該機能付携帯電話に係るNHK受信料について区はどう対応しているのか。

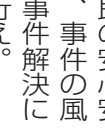
答弁 区保有の当該機能付携帯電話1万台について新たな契約は不要であることをNHKに確認した。

区内で起きた凶悪事件への対応

質問 遺族や被害者の無念が晴らされないまま世田谷一家4人強盗殺人事件の発生から2年12月で20年が経過し、犯人検挙は年々難しくなっている。区は区民の安心安全な暮らしを守るため、事件の風化を防ぎ、犯人検挙と事件解決に向けた取組を積極的に行え。

答弁 区民の安全安心な暮らしを確保するため、警察と連携し事件解決に向けた支援などに取り組む。

あべ 力也議員 (減 税)



子宮頸がんワクチンは自己決定で

質問 子宮頸がんワクチン接種は、がん予防効果が期待される一方で副反応のリスクを伴う。区長は接種を強制せず、区民の自己決定に必要な正確な情報提供に努めよ。

答弁 丁寧な相談対応や正しい情報提供などに努めるよう指示した。

保育園での保護者負担を軽減せよ

質問 区立園で従来続いている布団干しやシーツ替えを負担と感じる保護者が増えている。子育て環境改善の一環としてあしき伝統を廃止し、保護者の負担を軽減せよ。

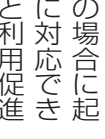
答弁 園と保護者との適切な役割分担について改めて検討していく。

法人後見制度の積極的なPRを！

質問 社会福祉協議会が行う法人後見は、個人の後見人の場合に起こりがちな様々な課題に対応できる制度だ。一層の普及と利用促進に向け、制度のPRに力を注げ。

答弁 法人後見についてホームページやハンドブックに掲載する。

上川 あや議員 (虹)



外国籍の子の就学調査は穴だらけ

質問 区教委の外国籍児童への就学調査は義務教育対象者でないの

をいいことにおざなりで、依然、三桁は未把握。電話調査や訪問調査を徹底し不就学ゼロを確認せよ。

答弁 回答がない全ての家庭への有効な確認手法を検討し実施する。

罹災証明発行迅速化の約束実行を

質問 区は、私の提案を受け大量の罹災証明書発行業務をスマホの写真判定等で迅速化できる自己判定方式の導入検討を約束したが改善がない。いつ実現できるのか？

答弁 導入に向け、2年度中に写真の撮り方などの周知を目指す。

ハラスメント防止は児童生徒にも

質問 私の提案を受け区教委は、教職員間のハラスメント防止要綱に人種やLGBT等を追記したが、教員の児童生徒に対するハラスメント防止要綱にも同改正が必要だ。

答弁 早急に要綱改正し教員への啓発や研修の充実に向け取り組む。

加藤 たいき議員 (自 民)



不妊治療費助成の対象拡大

質問 区の不妊治療費助成は治療後か妊娠で中止を決めた場合しか受け付けない事後申請方式だ。治療中も助成対象とするなど金銭的負担や精神的負担の軽減を図れ。

答弁 妊娠に係る相談を通じ本人の気持ちに寄り添う対応に努める。

避難所の位置や空き状況の可視化

質問 元年の台風19号では避難所の空き情報が錯綜し区民の混乱を招いた。豊島区に倣い、民間と連携し位置や空き状況をネット上で確認できる仕組みを導入せよ。

答弁 密集対策や避難行動に寄与できるように導入への検討を進める。

せたがやペイの利便性向上

質問 電子商品券せたがやペイのアプリが恒久的なインフラとなるには決済機能以外の付加価値が必要だ。AED設置場所の情報を入

れるなど複合的なアプリとせよ。

答弁 選ばれるアプリを目指し利用者の声を聞き運営者と議論する。

問 質 一 般

高久 則 男 議員
(公 明)



健康ポイント制度の導入

質問 区民の健康づくりを一層促進すべきた。検診受診や運動機能向上に取り組んだ際に健康ポイントを付与し、ポイント数に応じて報奨を得られる仕組みを導入せよ。

答弁 個人へのインセンティブ提供事業の実施に向け検討を進める。

不育症治療への区の独自支援

質問 流産などを繰り返す不育症は保険が適用されず、高額な治療費を要する。少子化対策や子を授かりたいとの希望をかなえるため、早急に区独自の支援策を講じよ。

答弁 国や都との役割などを踏まえ区の支援について検討していく。

暮らしの保健室の整備推進

質問 身近な所で医療や介護などの悩みを無料で相談できる「暮らしの保健室」を整備すべきた。民間事業者が区施設で運営するモデルを構築するなど積極的に進めよ。

答弁 民間で実施している当該事業と連携して柔軟に対応していく。

菅沼 つとむ 議員
(自 民)



ふじみ荘廃止後の居場所づくり

質問 さきの議会で高齢者の憩いの場であるふじみ荘の廃止が決まった。区は代替施設として民間のスポーツクラブなどを示したが、高齢者のニーズに沿うのか。

答弁 利用する高齢者の声を聞き、ニーズに沿った場づくりを進める。

東急バス路線廃止延期の働きかけ

質問 東急バスは成城学園前駅、都立大学駅北口間の路線廃止を決めた。区は路線存続に向け、地域や学校へ利用促進を図ることを条件に1年間の廃止延期を求めよ。

答弁 路線維持に向けた対策の検討を東急バスに対して求めていく。

旧池尻中跡地の有効活用

質問 旧池尻中跡地の広大な敷地が有効活用されていない。実績が低調なものづくり学校での活用は

やめ隣接する世田谷公園との一体的なスポーツ公園として整備せよ。

答弁 周辺環境との連続性も意識し具体的な活用策を検討する。

金井 えり子 議員
(生 産)



文化芸術活動への新たな支援策

質問 コロナ禍の文化芸術活動への区の支援は不十分であり舞台音響などの技術者を目指す若者が諦めざるを得ない状況だ。文化芸術を守るため新たな支援策を講じよ。

答弁 国の施策も踏まえ、持続可能な区の文化芸術の取組を進める。

遊び場や緑保全としての公園確保

質問 公園は緑地保全はもちろん子どもの体力向上の観点からも重要な存在だ。大規模敷地の用地変更などで緑地や公園が決して失われることのないよう確保に努めよ。

答弁 土地改変の際には必要な公園緑地の整備を事業者に促している。

香害の啓発チラシの配布先拡大

質問 柔軟剤などの強い香りに起因した香害の周知啓発が進んでいない。啓発チラシをまちづくりセンターや図書館など区民に身近な公共施設でも積極的に配布せよ。

答弁 図書館などでの配布やSNS活用で更なる普及啓発に努める。

桜井 純子 議員
(立 民 社)



区による障害者の人権侵害

質問 砧支所のケースワーカーが障害者本人の意向を確認せず契約手続を進めたことは人権を踏みにじる行為であり、2度と起こしてはならない。区の認識を示せ。

答弁 障害特性に応じた意思決定を尊重できず大変申し訳なかった。

移動支援団体との協力協定締結

質問 区と災害時の協定を結ぶ団体は警察への届出により災害時の交通規制の対象外となる。障害者などの移動支援のため福祉車両運行事業者との協定締結を進めよ。

答弁 条件や課題を事業者と共有し、締結に向け迅速に取り組む。

インクルーシブ教育の推進

質問 区は教育計画の改定に際し、ICT活用などコロナ禍での変化を分析し生かすとともに障害の有無を問わず学び合うインクルーシブ教育の推進を明確に位置づけよ。

答弁 インクルーシブ教育の推進など一層の教育施策の推進を図る。

青空 こうじ 議員
(無 所 属)



子どもの個性を育む教育の充実

質問 学業不振を理由とした子どもの自殺が増えている。学力習得に加え多様な個性を育み生きていくために区はどのようなプログラムや学習環境を設けているのか。

答弁 端末を配備し個人の興味関心に応じ学べる環境を整えていく。

認知症者への見守り支援の充実

質問 認知症者が安心して暮らしのために外出先で迷っている時に、周囲の人が気軽に声をかけ優しく見守る地域となることが望ましい。区の見守り支援の在り方を示せ。

答弁 地域全体で高齢者を見守るネットワークづくりなどを進める。

行方不明になった認知症者の件数

質問 認知症者が外出先から帰れなくなり警察に提出された行方不明届の件数が年々増加している。区内でも多くの在宅認知症者が暮らす中、何件の届出があるのか。

答弁 警察は届出の原因を個別に公表しておらず詳細は不明である。

つるみ けんご 議員
(あ ら た)



区民の声を反映した窓口の在り方

質問 2年度の区民意識調査ではまちづくりセンターで手続できる業務の拡充を求める声が多かった。地域行政の推進に向け、この結果を窓口の在り方にどう生かすのか。

答弁 行政手続に関する窓口サービスの拡充を検討し取り組む。

高齢者のくつろぎの場の創出

質問 高齢者の居場所が足腰が不自由な方などでも通いやすい範囲につくることが重要だ。高齢者の

生活実態や要望を的確に捉え、身近なくつろぎの場を創出せよ。

答弁 身近な地域で安心して過ごせる居場所づくりの充実を進める。

認知症者損害保険制度の検討状況

質問 これまで再三取り上げてきた認知症に伴う踏切事故等に係る損害賠償保険制度について、区は「検討する」との答弁を繰り返すばかり。検討状況を具体的に示せ。

答弁 民間保険がある中で公平な制度設計にできるか検討している。

中山 みずほ 議員
(立 民 社)



区民ニーズに即したDX推進

質問 区のデジタル技術を活用した業務改革であるDXの取組は保育園入園手続の簡略化など区民利益を念頭に進めるべきだ。民間の視点も取り入れて全庁で取り組め。

答弁 DXの意義を庁内共有し民間の視点を生かしながら検討する。

DX推進に対する区長の姿勢

質問 区長はDX推進に際しリーダーシップを一層発揮すべきた。就任当初に掲げた仕事の5%を大胆に変える5%改革をDX推進では50%改革として迅速に取り組め。

答弁 デジタルデモクラシー実現に向け50%改革に着手し進める。

ICT支援員による支援体制強化

質問 学校でのICT活用を支援するICT支援員が区立校90校に対し6名では支援が行き渡りかねるのか。支援員19名が授業支援も行う熊本市に倣い体制を強化せよ。

答弁 増員を早急に検討するなど効果的な学校支援に取り組む。

たかじょう 訓子 議員
(共 産)



暮らしの総合相談窓口の周知徹底

質問 コロナ禍での生活上の困りごとなどの相談先を案内する「暮らしの総合相談窓口」を各支所に設置したことを評価する。この窓口の開設を区民へ広く周知せよ。

答弁 区ホームページへの掲載や広報紙に掲載し広く周知していく。

児童育成手当の増額

質問 新型コロナの影響で家計が逼迫しているひとり親家庭の生活不安を解消すべきた。生活困窮家庭への経済的支援の強化に向け、区の児童育成手当を増額せよ。

答弁 ひとり親家庭の生活実態の把握に努め必要な支援を検討する。

千歳烏山駅周辺地区のまちづくり

質問 千歳烏山駅周辺地区の地区計画原案が示された。変化するまちへの関心の高まりを受け、多くの住民が話し合う場への支援など、参加と協働のまちづくりを進めよ。

答弁 多様な主体が連携した魅力あふれるまちづくりに取り組む。

高岡 じゅん子 議員
(生 産)



新型コロナ感染予防に係る啓発

質問 新型コロナへの正しい知識がないことで、区民に感染症への不安感が広がるのが危惧される。感染症予防アドバイザーの派遣拡大や指導動画配信を行い啓発せよ。

答弁 アドバイザーや関係所管と協議し派遣先拡大などを検討する。

介護人材不足解消への事業展開

質問 人材不足産業を中心とした短時間短期間雇用マッチング支援事業が介護人材の確保につながることに期待が高まる。中長期的な人材育成に資する視点で取り組め。

答弁 働く環境などを理解し就職先を決めてもらう事業としている。

これからの地域行政の在り方

質問 地域行政推進に係る条例の策定に合わせ地域課題を住民主体で解決する仕組みを構築すべきた。地域のまちづくりセンターが協議の場となるよう条例に位置づけよ。

答弁 課題解決に向けて協議する実効性ある仕組みを検討する。

平塚 敬二 議員
(公 明)



2050年までに温室効果ガス実質0%へ

質問 既存の区施設においても、再生可能エネルギーを「創る」取り組みが必要だ。今後は国の施策を

活用し、太陽光などの発電設備と蓄電池をセットでの設置を進めよ。

答弁 実施手法を検討し再生可能エネルギーをつくる取組を進める。

自殺予防対策の更なる強化

質問 自殺予防対策を強化すべきた。SNSを活用した相談窓口を早急に整備するとともに、区ホームページから国や都のSNS相談にリンクできるように改善せよ。

答弁 相談希望者を速やかにつながられるよう、早急に取り組む。

火災警報器の更新を促す工夫

質問 区内の高齢者世帯を対象とした火災警報器の無償設置から10年が経過した。機器の寿命による不調で火災の犠牲となることがないよう更新を促す対策を工夫せよ。

答弁 関係所管と協力し火災警報器の正しい理解と更新に努める。

中里 光夫 議員
(共 産)



コロナ禍から区民を守る施策推進

質問 コロナ禍から区民の命と暮らしを守る事が区政の最重要課題だ。この間の区の感染拡大防止策や事業者支援を充実する方向で補正予算と3年度予算を編成せよ。

答弁 国や都の政策を見定めつつ、財源を確保し必要な施策を進める。

飲食店応援キャンペーンの見直し

質問 感染拡大防止と経済活動の両立は重要だが、第3波の今、区の飲食店応援キャンペーンは立ち止まり見直しを。テイクアウトに重点を置くなど支援方法を見直せ。

答弁 感染状況などを注視して運用方法を検討し適切に対応する。

区独自の国保料減免の実施

質問 コロナ禍で国が実施する国保料減免は家計が悪化した人の大きな助けとなっている。今後国に減免の継続を要請するとともに、多子世帯へは区独自減免を講じよ。

答弁 国へ働きかけを強め区として早期実現を目指し検討を進める。



問

質

般

一

いそだ 久美子 議員
(立民社)



区立校のトイレ洋式化の推進

質問 区立校のトイレ洋式化率は62%で23区中ワースト2位だ。災害時に避難所として利用されることも踏まえ、工事が安易に便器交換手法の導入など早急に改修せよ。

答弁 工事の工夫などしながら洋式化率80%の早期実現に取り組む。

仙川の長年放置された土砂の撤去

質問 仙川の竜沢寺橋付近では長年の堆積土砂から樹木や雑草が生え虫も大量発生し環境を損なっている。近隣から指摘がある地点は土砂撤去に重点的に取り組め。

答弁 仙川の流下能力確保と環境改善を都と連携し計画的に進める。

若手研究員の経済的な支援

質問 未来を担う若手研究員の住まい確保を支援すべきだ。空き家オーナーを紹介する一方で区内の児童生徒に研究のすばらしさを講演してもらうなど方策を検討せよ。

答弁 シェアハウスなどの活用をトラストまちづくりと研究する。

桃野 芳文 議員
(F行革)



コロナ禍での困窮世帯への支援策

質問 低所得のひとり親世帯を支える国の児童扶養手当は前年所得で審査するためコロナ禍による家計の急変に対応できない。区独自の継続的な支援策を早急に講じよ。

答弁 実態把握調査の結果を基に必要な支援を検討、実施する。

児童虐待早期発見への区の対応

質問 2年6月に大田区で発生した3歳女児衰弱死事件では親が3歳児健診を受けさせていなかった。早期発見の機会である検診未受診家庭に区はどうか対応しているのか。

答弁 必要に応じ保健師が訪問などを子どもの安全を確認する。

大蔵運動場陸上競技場の運用改善

質問 大蔵運動場陸上競技場フィールド部分は、一般開放せず指定管理者のスポーツ振興財団だけが

事業で使用している。区民が様々な種目で利用できるよう改善せよ。

答弁 芝の管理などの課題を整理し、スポーツ振興財団と検討する。

羽田 圭二 議員
(立民社)



所得減が招く悪循環からの脱却

質問 コロナ禍で日本経済の悪化は一層強まった。非正規雇用労働者の格差を是正し、低賃金で所得が増えないため消費が伸びず税収も悪化するといった悪循環を断て。

答弁 適正な賃金確保の視点に立ち、時期を逸さずに対策を講じる。

住民の意思決定権の保障

質問 ふじみ荘廃止の決定プロセスに利用者の声を反映させたのか疑問だ。策定予定の地域行政推進に係る条例には、住民の意思決定権を保障する内容を盛り込め。

答弁 住民参加の手法や施策などへの反映手順などの検討を進める。

学校運営における校長の裁量権

質問 特色ある学校づくりは校長による独自の判断も必要だが教員や保護者等の意見を無視して進めるべきではない。校長の裁量権について教育委員会の見解を示せ。

答弁 校長による適正な学校運営に向け、指導や助言をしていく。

畠山 晋一 議員
(自民)



生徒と指導員の良好な関係づくり

質問 コロナ禍で部活動が制限される中、外部指導員と生徒が信頼し合える環境が必要だ。アンケートなどを通じて、互いの思いや考えを共有できる取組を進めよ。

答弁 学校と連携し、アンケートの実施に向けて検討していく。

交通死亡事故ゼロへの対策の強化

質問 区道での歩行者の交通死亡事故が過去6年間で7件起き、うち10歳未満の児童が3名も含まれている。悲痛な事故が起きぬよう交通死亡事故ゼロに向け尽力せよ。

答弁 効果的な交通安全啓発を行うなど交通死亡事故ゼロを目指す。

ペーパーレス化の一層の推進

質問 区ではコロナ禍を機に会議でのタブレット活用などペーパーレス化が進む中、議会への報告はまだまだ紙文書のままだ。一層のペーパーレス化にどう取り組むのか。

答弁 タブレットの導入など議会と相談しながら積極的に取り組む。

中塚 さちよ 議員
(立民社)



図書館改革の一層の推進

質問 企業が指定管理者の武雄市立図書館は職員や民間の発想を生かし市民ニーズに応えている。区の図書館改革では職員の意欲を高めアイデアを生かす運営を目指せ。

答弁 職員のアイデアを柔軟に取り入れる仕組みなどを検討する。

高齢者の健康づくりの場の確保

質問 コロナ禍で地域の健康づくり活動が軒並み中止となり高齢者の体力低下が懸念される。区施設などの安心した環境での健康活動をPTなど専門職と連携して行え。

答弁 地域のリハビリテーション専門職と連携した取組を進める。

男性に向けた子宮頸がんの啓発

質問 子宮頸がんの原因となるウイルスへの感染は性交時のコンドーム使用により感染のリスクを下げることができる。感染予防について男児や男子学生にも啓発せよ。

答弁 男女問わず教育する必要がある。性教育の場の活用を検討する。

江口 じゅん子 議員
(共産)



介護職確保策の強化

質問 特養ホーム等基盤整備と人材確保策は区の責務だ。現場の声踏まえ処遇改善やイメージアップ等対策を強化するとともに、都のICT促進補助金の上乗せを行え。

答弁 総合的な人材確保策を進め、提案を含め更なる策を検討する。

外環道区内のボーリング調査を

質問 調布の陥没事故等は地上部に影響が無いとした大深度の安全神話が崩れた重大事態だ。喜多見

でも振動・騒音被害があり、ボーリング等含む徹底調査を求めよ。

答弁 陥没などの調査を踏まえ必要性を確認し事業者と協議する。

祖師谷団地建替え、転居等支援を

質問 住民から「J-KK紹介物件は家賃が高く転居出来ない」「建替え後の高い家賃では戻れない」等不安が聞かれる。転居に対し丁寧に対応するようしっかりと伝えよ。

答弁 移転や家賃水準など丁寧な対応を都住宅供給公社に求める。

佐藤 弘人 議員
(公明)



プラスチック資源循環の推進

質問 脱プラスチックとともに資源の循環利用も推進すべきだ。資源循環型社会を目指す国の動向に合わせ区も事業者と新たなプラスチックリサイクル事業を検討せよ。

答弁 プラスチック資源循環について3年度より専門家と検討する。

介護認定調査事務のデジタル化

質問 超高齢化に伴い介護を要する人が増え介護度を判定する介護認定調査員は業務過多に陥っている。認定調査をデジタル化して調査業務を効率化し負担軽減を図れ。

答弁 他自治体の例を情報収集し、導入への課題整理や検討を進める。

「せたがや版道の駅」の創設

質問 厳しい財政状況に鑑み、稼げる公共施設運営が必要だ。拡張予定の玉川野毛町公園に農産物市場や防災などの機能も備えた「せたがや版道の駅」を創設せよ。

答弁 収益を上げられる施設誘致の実現を目指し取り組む。

そのべ せいや 議員
(都ファ)



保育園入園選考へのAI導入

質問 入園選考をAIで全体最適化すれば申込者全員の入園も可能となる。公平性・再現性の観点からも申込を機械判別に適した形式として、AI選考の基盤を整えよ。

答弁 選考フォーマットの見直しを含め検討の必要があると考える。

児童生徒による清掃活動の現代化

質問 毎日・全員・15分の清掃に年50時間費やしている。ほろつき・ちりとり等の前時代・不衛生な清掃を掃除機に換え、子どもたちの時間と清潔な教室を確保せよ。

答弁 清掃する場所などに応じ、掃除機などの活用を検討する。

子どもが清掃活動を行う意義

質問 学習指導要領の裏付けなく、既にロボットに代替されている清掃は現代の社会参画意識・働く意義の学びには適さないと考えるが、児童生徒へ意義を説明できるのか。

答弁 集団での役割や責任を持つことにつながることを説明していく。

ひえしま 進 議員
(F行革)



自治権拡充に向けた区の方向性

質問 区長は自治権拡充に向け政令市化を公言するが、区は法令上不可能なため既存の枠組みに捉われず検討する方針を示した。区長の目指す世田谷の将来像を示せ。

答弁 都区制度改革などの検討を進め4年度以降在り方をまとめる。

世田谷モデルの実効性確保

質問 PCR検査拡充策である世田谷モデルはクラスター化抑止が目的だが、月1回の検査を3度行う悠長な施策だ。安価で簡便な検査キットを使い検査回数を増やせ。

答弁 様々なキットがあるので、しっかりと検証し判断していきたい。

世田谷モデルの効果検証

質問 区民の血税を約4億円もつぎ込んだ世田谷モデルは3年1月に終了する。実効性を疑問視されてきた事業だけに効果検証が重要だが、どのような計画で臨むのか。

答弁 実施状況を整理分析し2年12月中旬を目途に議会に報告する。

ひうち 優子 議員
(世田谷)



図書館への視覚支援デバイス導入

質問 読みたい文章を指さすと自動音声を読み上げる視覚支援デバイス「オーカムマイリーダー」は、

視覚障害者や高齢者の読書環境改善に役立つ。図書館に導入せよ。

答弁 先行導入している他自治体の情報を収集し調査研究を進める。

図書館ホームページの改善

質問 図書館ホームページを見直し利便性を向上すべきだ。本の表紙画像の表示機能とページ前面へ戻る機能を追加するとともに、タイムアウト時間延長も検討せよ。

答弁 システム改修などの際に、利用者が要望などを踏まえ検討する。

学校での配付プリントの電子化

質問 多くの保護者の方からの声を受け、さきの議会で保護者と教員双方の負担軽減のために提言した、児童への紙の配付プリントのオンライン化は進んだのか。

答弁 課題もあるが早期の導入に向け、積極的に検討を進めていく。

穴戸 三郎 議員
(自民)



学校長の短期間で異動の改善

質問 学校長が1、2年で異動する状況で学校と地域が信頼関係を築けるのか疑問だ。地域における子どもの健全育成に影響が及ばないよう、都に改善を求めよ。

答弁 学校と地域が一体で教育活動を行えるよう、都に働きかける。

魅力ある教員の育成

質問 児童生徒が尊敬できる魅力的な先生と出合える環境づくりに力を注ぐべきだ。区が設置予定の教育総合センターの活用を含め教員育成にどのように取り組むのか。

答弁 人権配慮などの様々な課題に対応できる教員を育成していく。

地域貢献を実感できる職場体験

質問 区立中学生が行う職場体験には、町会活動への参加や消防団員との交流など、地域貢献の喜びを実感できる取組も大切だ。今後の方針について区の考えを示せ。

答弁 キャリア教育として職業観を育めるよう、学校を支援する。



次回の定例会は2月下旬から開催する予定です

[↑ページからの続き](#)

○レンタルサイクルポート

（全員賛成）

| 施設名称 | 指定管理者 |
|-----------------|----------------------|
| 桜上水南レンタルサイクルポート | 公益社団法人世田谷区シルバー人材センター |
| ほか6件 | |

●特別区道路線の認定

1件

（全員賛成）

| 所在地 | 延長(m) |
|---------------|--------|
| 大蔵5-12、喜多見6-7 | 107・21 |

●区域外道路の認定の承諾

1件

（全員賛成）

所在地Ⅱ北烏山7-31
面積Ⅱ23・14㎡
管理Ⅱ三鷹市

●教育委員会委員任命の同意

1件

（全員賛成）

中村 豊（再任）

●監査委員選任の同意

1件

（全員賛成）

中根 秀樹（新任）

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

◆審議が終わったもの

◆採択したもの

1件

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出に関する請願（全員賛成）

◆趣旨採択したもの

2件

○婚外子差別撤廃のための戸籍法改正を国に求める意見書の提出に関する請願

賛成多数
賛成：川崎、立花、戸塚、あした、産集、減税、虹、世帯、都庁、区民、無所属
反対：川崎

○高次脳機能障害への支援における「梅ヶ丘拠点」の立て直し及び慢性的に不足している施設増設に関する陳情

（全員賛成）

◆不採択としたもの

2件

○世田谷区本庁舎等整備計画についてコロナ禍を踏まえた柔軟かつ大胆な見直しを求める陳情（全員賛成）

○コロナ禍での新本庁舎整備の入札の延期を求める陳情

（全員賛成）

◆取下げを承認したもの

1件

○「種苗法の一部を改正する法律案」の廃案及び調査・報告を求める意見書等の提出に関する陳情

（全員賛成）

◆新しく出されたもの

◆区民生活常任委員会に付託

1件

○「廃止」になった「ふじみ荘」の代替え施設の設置と、それが整った「ふじみ荘」（来年3月末以降も建物は残る）の暫定使用（再利用）に関する陳情

◆福祉保健常任委員会に付託

1件

○75歳以上の医療費窓口負担2割化の検討を中断し、新型コロナ拡大の折り、安心できる医療制度維持を国に求める意見書の提出に関する陳情



要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める要望書

長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、我が国の経済は依然として厳しい状況下であり、小規模事業者を取り巻く環境も、雇用不安の拡大、不透明な金融事情、後継者不足など、さまざまな危機にさらされています。

このような社会経済環境の下で、世田谷区内の事業者は、厳しい経営を強いられ、その生活基盤は圧迫され続けています。

こうした中、東京都が実施している、軽減措置、減免措置が廃止されることになれば、小規模事業者の経営や生活はさらに厳しいものとなり、地域経済への悪影響が懸念されます。

よって、世田谷区議会は東京都に対し、次の事項を実施されるよう要望いたします。

1. 小規模住宅用地に対する都市計画税の二分の一軽減措置を引き続き令和3年度以降も実施すること。
2. 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の2割減免措置を引き続き令和3年度以降も実施すること。
3. 商業地等における固定資産税水準の上限を65％に引き下げる減額措置を引き続き令和3年度以降も実施すること。

令和2年11月16日
東京都知事 あて

婚外子差別撤廃のための戸籍法改正を国に求める要望書

平成25年9月4日、最高裁判所大法廷は、14名の裁判官全員一致で、婚外子の相続分を婚内子の2分の1とする民法の規定（民法900条第4号但書前段）を憲法違反と決定しました。すでにこの規定は、同年の臨時国会で改正され発効しています。

また、同年9月26日に最高裁判所第一小法廷は、戸籍法第49条第2項第1号の規定について合憲と判断しましたが、「憲法に違反しない」と述べたものの、「事務処理上不可欠の要請とまでは言えない」と明言した上、立法において見直すべきという補足意見も付していることから、現状を是としたものでないことは明らかです。

さらに、近年、諸外国でも婚外子差別の撤廃が進み、嫡出子、嫡出でない子の区別自体が子どもへの不当な差別であるとして法改正が進んでおりますが、我が国のこの規定について、国連人権諸機関から繰り返し法改正を勧告されており、婚外子の人権尊重のために一刻も早い法改正が望まれます。

また、平成16年11月の制度改正により、婚外子についても婚内子同様、「長男」、「長女」等と続柄が記載されるようになりましたが、それ以前に出生の届出がなされた婚外子の続柄は、「男」、「女」と記載されており、婚外子差別の要因ともなるものです。本人または母の申し出によって記載の変更は可能ですが、現に婚外子差別がある中で自ら名乗り出るには困難が伴います。また、国や行政から十分には広報されていないことから、この制度改正自体知らない人も大勢いると考えられます。

もともと続柄欄において、「長（男・女）」、「二（男・女）」、「三（男・女）」等と出生順に序列をつけていたのは、戦後廃止された家督相続の順序を明確にするためのものであり、現在では必要がない事項です。

す。

従って、婚外子差別の要因を取り除き、戸籍実務上不要な事項を廃止して事務を簡素化するためにも、続柄欄を廃止することは極めて合理的であると考えます。

よって、世田谷区議会は、国会及び政府に対し、以下の事項について要望いたします。

- 1 戸籍法第49条第2項第1号を削除し、出生届における、嫡出子、嫡出でない子の別の記載欄を廃止すること。
- 2 戸籍法第13条第4号及び第5号を改正し、戸籍の実父母との続柄及び養親との続柄を廃止し、続柄廃止に伴い性別を明らかにする必要がある場合は、性別欄を設けるよう改正すること。

令和2年11月16日
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、法務大臣 あて

東京外かく環状道路（関越～東名）本線シールドトンネル工事における安全性確認についての要望書

令和2年10月18日、東京外かく環状道路（関越～東名）本線シールドトンネルが通過した直上である調布市東つじヶ丘2丁目の市道等で、陥没が発生しました。また、後日の調査により、現場付近の地中にも空洞があることが判明しました。

区では、外かく環状道路の工事に関し、安全な工法であること、また、工事を進める上で周辺住民への情報提供や丁寧な対応等を条件に協力しておりますが、今回の事象は、その根本を揺るがすものであり、既に掘進が完了した区内区域における同様の事象発生について、区議会としても非常に強く懸念しております。

区は、区民の安全・安心確保の観点から、10月20日に「本線シールドトンネル工事における安全性の確認について（要請）」を手文し、

「陥没原因の解明及び本線シールドトンネル工事との関係性」、「区内における同様な事象発生の可能性の検証」、「掘進完了箇所における継続的な安全性の確認」、「本線シールド工事の影響による場合、今後の具体的な再発防止対策」の4点について早急に確認し、その結果についての報告及び区民に対する周知を行うこと及び、原因究明がなされるまで工事を再開しないよう求めたところです。

10月23日に開催された、東京外環トンネル施工等検討委員会第2回有識者委員会では、陥没の原因究明に向けた調査と並行し、世田谷区内をはじめ、既に掘進が完了した区間における安全性の確認に向けた調査を実施することが公表されました。しかしながら、事象の原因究明がされない限りは、地域住民の安全を確保し、不安を解消するには至らない状況です。

よって、世田谷区議会は、今回の事象についての原因究明を早急に進めるとともに、区内の掘進完了区間における安全性について直ちに確認し、さらに、継続的に担保していくため、万全の措置を講じることを強く要望いたします。

令和2年11月16日
国土交通省関東地方整備局東京外かく環状国道事務所長、東日本高速道路株式会社関東支社東京外環工事事務所長、中日本高速道路株式会社東京支社東京工事事務所長 あて

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。

TEL（5432）2779
FAX（5432）3030

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容については、会議録（2月中旬発行予定）をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

